

2016年

10/30 日  
13:00～16:30

入場無料

会場

琴浦町生涯学習センター  
「まなびタウンとうはく」  
多目的ホール（4F）  
※山陰本線「浦安駅」となり

基調講演

「河本家の古典籍の全体像と特色

— 調査開始以来の歩み —」

ノートルダム清心女子大学文学部准教授 原 豊二

パネル  
ディスカッション

コーディネータ：田中 則雄（島根大学法文学部教授）

パネリスト：坂本 敬司（新鳥取県史編さん委員会近世部会委員）

原 豊二（ノートルダム清心女子大学文学部准教授）

山崎 真克（比治山大学現代文化学部教授）

昌子 喜信（島根大学附属図書館情報サービスグループリーダー）

■ 企画展示「古典籍発見の軌跡とその展望」

10/25 火 - 10/30 日  
9:00～16:00

会場 琴浦町生涯学習センター「まなびタウンとうはく」  
第1展示ホール（4F）

■ 国指定重要文化財河本家住宅の秋の公開

10/22 土 - 10/30 日  
10:00～16:00



義経勲功記



北野霊顕記

島根大学附属図書館

TEL 0852-32-6086

琴浦町教育委員会 社会教育課

TEL 0858-52-1161

主催：国指定重要文化財 河本家住宅保存会／島根大学附属図書館

共催：琴浦町教育委員会／島根大学法文学部山陰研究センター

後援：TRC-ADEAC株式会社

関連企画

お問合せ先

古典籍発見の軌跡とその展望

河本家稽古有文館シンポジウム

尼子氏の重臣を祖先に持つ鳥取県東伯郡琴浦町の河本家「稽古有文館」に伝わる古典籍800点余、約4,800冊は、希少本も多く含まれる貴重なコレクションです。  
2014（平成26）年度から、図書館振興財団の助成を受けて、古典籍の大規模なデジタル化を進め、デジタルアーカイブ（ADEAC）から順次公開を進めています。  
10年来進められてきた古典籍の調査開始以来の軌跡を振り返りながら、河本家古典籍の全体像と特色や意義について、基調講演とパネルディスカッションをおして考えます。

